

戸田市水道ビジョン2014（改訂版） 事業評価シート 令和4年度事業評価

施策	評価の視点	評価段階	個別評価	施策評価	コメント【実施内容・今後について】
1 「安全」で安心して飲める水道					
(1) 地下水の保全と適正な利用	①事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	4号取水井の更新工事が完了した。9号取水井の実施設計を実施した。
	②適正揚水量の管理の状況	[適切に管理：A、一部不適合：B、全体的に問題あり：C]	A		各井戸とも取水能力に見合った適正な揚水量を維持している。
	③井戸の定期点検の実施状況	[点検実施：A、部分的に実施：B、点検未実施：C]	A		毎週水位測定を実施した。
(2) 水質監視体制の強化	①水質検査計画と水質検査の実施状況	[適切に管理：A、一部不適合：B、全体的に問題あり：C]	A	A	令和4年度の水質検査計画を作成し、同計画に基づき、水質検査を実施した。
	②残留塩素濃度の低減のための取り組み	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		井水については、県水受水残塩の数値を超えないよう配水した。
(3) 水安全計画の策定	①水安全計画の策定状況	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	水質の安全性向上に寄与するよう本計画を適切に運用した。水安全計画策定・推進チームを再編成し、本計画の妥当性確認、実施状況の検証及びレビューを実施の上、改定版を策定した。
(4) 直結給水方式の拡大等	①直結給水の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	直結給水方式の拡大の推進 直結給水率70.2%
	②貯水槽水道指導の進捗状況	[適切に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		書面、口頭による指導、広報紙への掲載を行った。
2 災害時でも信頼できる「強靱」な水道					
(1) 水源計画の検討	①水源計画の検討状況（H32以降計画）	[実施済み：A、実施の検討中：B、未実施：C]	A	A	4号取水井の更新工事が完了し、9号取水井更新工事の実施設計を実施した。
(2) 合理的な施設更新	①機電設備の更新における施設規模の妥当性	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A	A	西部浄水場鋼製配水池（2池）及びRC配水池（1池）の水位計を、更新事業を見越して安価な投込式で更新した。
	②機電設備の水害対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		受変電設備の部品交換、水質計器の点検整備、非常用発電機のオーバーホールといった、機器故障の予防・予知保全を実施した。
	③機電設備のバックアップ能力の確保状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、見直しが必要：C]	A		受変電設備の部品交換、水質計器の点検整備、非常用発電機のオーバーホールといった、機器故障の予防・予知保全を実施した。
(3) 老朽設備・老朽管の更新	①機電設備の事業計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	B	A	西部浄水場更新事業DBアドバイザー業務の入札を行ったが、入札者が無く不調となった。西部浄水場の更新事業をDB方式から設計・施工分割発注方式で行うことに変更した。
	②一般管路の更新事業の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		配水管更新 655.8m
	③拡張計画の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		土地区画整理事業の区画街路築造進捗に応じて配水管新設 延長53.4m
(4) 基幹施設・基幹管路の耐震化	①管路の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	耐震化率52.7%
	②基幹管路【口径300mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		耐震化率54.3%
	③基幹管路【口径200mm以上】の耐震化率（％）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		耐震化率76.6%
(5) バックアップ機能の充実	①幹線管路のループ化の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A	A	最重要基幹管路は全て耐震化済み。
	②西部浄水場電気棟が耐震化、浸水対策の実施状況	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	A		西部浄水場での自家発電設備の更新が完了した。
(6) ハルプ等の点検・整備	①バルブ等の点検の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	断水作業時に作動状況を確認。
	②西部浄水場の緊急遮断弁の更新（令和3年度で評価終了）	[計画的に実施：A、計画に遅れがある：B、未実施：C]	—		—（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）
(7) 応急給水・応急復旧体制の強化	①危機管理マニュアルに基づく職員研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	水安全部応急給水訓練実施（7月）
	②関係機関と連携が図れた応急給水訓練の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		水安全部応急給水訓練実施（7月）、消防防災フェア（3月）
	③危機管理マニュアルの見直し状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		人事異動に伴う組織連絡網を変更した。
(8) 災害時における関係者及び近隣事業者との連携強化	①広域連携の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	上下水道事業包括委託受託者のグループ構成員による全国からの支援展開の体制づくりができています。日本水道協会関東地方支部応援要請等情報伝達訓練を実施し、災害時応援等の連絡体制づくりを訓練の上、確認した。
(9) 連絡管整備の可能性の検討	①連絡管整備の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C	C	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため隣接事業者との会議が開催中止となった。

戸田市水道ビジョン2014（改訂版） 事業評価シート 令和4年度事業評価

施策	評価の視点	評価段階	個別評価	施策評価	コメント【実施内容・今後について】
3 お客さまと築く「持続」可能な水道					
(1) お客さまへの情報提供の充実	①紙面やHPによる情報提供の充実	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	上下水道事業広報紙「みずのめぐみ」を6月と12月に全戸・店舗等配布し、電子版をHPにて公開した。
	②水道事業主催のイベントの実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		水道週間に係る展示（R4.6.1～6.7）
	③施設見学会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、未実施。
	④双方向コミュニケーションの活用検討と実践（令和4年度から新規設定）	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		災害未発生のため、災害による情報発信を行うことは無かったが、引き続き活用方法について検討する。（令和3年度第2回経営審議会にて評価の視点に追加することを報告済み）
(2) お客さまニーズ把握によるサービスの充実	①アンケート調査の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C	B	施設見学会時にアンケートを実施していたが、見学会未実施のため、アンケートも実施できなかった。アンケート手法について検討を要する。
	②経営審議会の開催状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		2回開催 8月書面開催（上下水道ビジョン評価、包括委託モニタリング結果、上下水道基本料金減免措置）10月（上下水道ビジョン評価、決算報告、雨水貯留管の整備報告）
	③市民懇談会の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	C		新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、未実施。今後の実施方法等について検討を要す。
(3) 健全な経営と事業運営の維持	①総収支比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A	B	収益的収支は黒字を維持し、計画を達成した。
	②累積欠損金比率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		収益的収支は黒字を維持し、累積欠損金は発生せず、計画どおりとなった。
	③料金回収率	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	C		水道料金の減免を実施したことにより、計画値93.7%に対して実績値81.4%と大幅に減少した。
	④給水収益に対する企業債残高の割合	[計画値どおり：A、計画値とやや乖離がある：B、計画値と乖離がある：C]	A		企業債残高が前年度と比較して減少したことにより、計画を達成した。
(4) 事務事業の効率化	①新たな業務委託の検討状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	事業の効率化を図るため、水質調査・財務会計業務等を追加した第2次包括委託の2年目であり、年間評価結果については、初年度に引き続き要求水準を満たしたものであった。
(5) 人材育成と技術者の確保	①内部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A	A	正式な内部研修としては実施していないが、事象（漏水等）発生時に現場で経験者から未経験者への技術継承等実施している。
	②外部研修の実施状況	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		水道基礎講座 他17回参加
(6) 情報の共有化	①情報システムの活用状況	[積極的に活用：A、部分的に活用：B、全く活用していない：C]	A	A	課内で情報を共有。工事、問い合わせ対応等に活用。データを毎年更新。
(7) 省エネルギー対策の検討	①高効率機器・省エネルギー機器の導入状況	[更新に併せて導入：A、部分的に導入：B、導入していない：C]	A	A	西部浄水場空調機更新工事を実施し、施設の機能低下を防止した。
	②太陽光発電設備の導入の検討	[検討済み：A、検討中：B、未検討：C]	A		継続して稼働している。
(8) 建設副産物のリサイクル推進	①建設副産物のリサイクル状況	[リサイクル率100%：A、100%未満：B、0%：C]	A	A	埋戻し材や路盤材などに再生材を採用した。
	②建設副産物の発生抑制状況	[取り組み実績有り：A、取り組み検討中：B、未検討：C]	A		CREDASを活用し、建設副産物の再利用を行っている。
(9) 老朽管解消による有効率の向上	①有効率の向上（令和3年度で評価終了）	[有効率96.7%以上：A、95%以上：B、95%未満：C]	-	A	-（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）
	②漏水調査の実施	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	A		戸別音聴調査37,158戸 弁栓音聴調査274.6km
	③私道内給水管整備事業の実施（令和3年度で評価終了）	[計画的に実施：A、部分的に実施：B、未実施：C]	-		-（令和3年度第2回経営審議会にて、令和3年度で評価終了することを報告済み）